

左室収縮能が保たれた心不全の予後に関する多施設共同前向き観察研究

1. 研究の対象

研究参加施設に非代償性心不全との診断（フラミンガム診断基準に基づく）にて入院となった患者さんのうち、1. 2. を満たす方。

1. 入院時の経胸壁心臓超音波検査において m-Simpson 法または Teichholz 法にて LVEF が 50%以上であること。
2. 入院時の NT-proBNP 400pg/ml 以上または BNP 100pg/ml 以上であること。

なお、1. 2. の両者を満たしても、以下が一つでもある場合は、対象外となります。

- ・入院時の心エコーにて弁の器質の変化による重度以上の弁膜症（大動脈弁狭窄症（AS）、大動脈弁閉鎖不全症（AR）、僧房弁狭窄症（MS）、僧房弁閉鎖不全症（MR））を合併する患者さん。
- ・20 歳未満の方。
- ・入院時急性冠症候群合併されている方。
- ・予後半年以内と診断されている心臓外の疾患を有する方。
- ・心臓移植術後である方。
- ・その他主治医が不相当と考える方。

2. 研究目的・方法

収縮能が保たれた心不全（Heart Failure with Preserved Ejection Fraction: HFpEF）患者さんの臨床背景、治療内容、予後を明らかにすることで、HFpEF 患者さんの病態を把握し、病気の解明や新しい治療法の発見の一助とすることが目的です。

『研究の対象』で記載した患者さんの診療情報を診療情報から抽出し、臨床背景、治療内容、予後を調査し、HFpEF に関係する因子の解析を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況 等

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

大阪大学医学部附属病院

坂田泰史

尼崎中央病院	安村良男
地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪急性期・総合医療センター	山田貴久
市立池田病院	永井邦彦
国立病院機構大阪医療センター	上田恭敬
大阪警察病院	樋口義治
国立病院機構大阪南医療センター	安岡良典
大阪労災病院	西野雅巳
加納総合病院	谷明博
川崎病院	丸山貴生
河内総合病院	林英宰
市立川西病院	中川雄介
関西労災病院	真野敏昭
紀南病院	奥本泰士
公立学校共済組合近畿中央病院	和泉匡洋
兵庫県立西宮病院	間木野泰祥
神戸掖済会病院	藤久和
大阪府済生会千里病院	廣岡 慶治
桜橋渡辺病院	岩倉克臣
地域医療機能推進機構 JCHO 大阪病院	長谷川新治
地域医療機能推進機構 JCHO 大阪みなと病院	山元博義
地域医療機能推進機構 JCHO 星ヶ丘医療センター	木島祥行
市立吹田市民病院	原田光一郎
住友病院	安賀裕二
市立豊中病院	中川 理
市立東大阪医療センター	市川 稔
箕面市立病院	北尾 隆
八尾市立病院	橘 公一
りんくう総合医療センター	武田吉弘
大手前病院	山田貴之

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 腫瘍循環器科 藤田 雅史 (研究責任者)

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究代表者：

大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学講座 坂田 泰史

-----以上